

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)		*	*	*
		スーパー（役員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、小中学生の昼食、外食自粛による内食化などの需要があり、売上が伸びている。
		その他専門店 〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・このような混乱状況のなかではあるが、ここ数年で一番の景気の良さとなっている。マスク、消毒関連商材が納入されない状況にあるものの、免疫強化、滋養関連商材の売上が伸びている。特記に値する事態であり、日頃の地味な啓もう活動がようやく実を結んだと捉えている。
		通信会社（企画担当）	来客数の動き	・北海道の緊急事態宣言により、3月19日まで外出自粛が周知されていたことで、来客数が例年の4割減となり、通信端末の販売量も大幅に落ち込んでいたが、緊急事態宣言終了後は来客数が例年の2割減程度まで持ち直してきている。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染予防により、内食需要が盛んになっている。総菜や加工食品の売上が10%以上伸びている。
		スーパー（役員）	来客数の動き	・学校の休校や外食から内食への変更により、売上が大きく伸びている。ただし、ここ数か月、来客数は大きく変わらず推移していることから、現状の売上増は景気が上向いているためとは考えられない。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・景気自体は悪くなっているとみられるが、コンビニ業態としては巣籠り消費などの影響で買いだめなどの需要が発生しており、売上に大きな変化はみられない。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・3月の売上は前月と比べて若干上向いている。ただし、前年と比べると5%程度のマイナスとなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の反応は決して良いものではない。新型コロナウイルスの影響がにじみ出ている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響もあり、外出を控える傾向が少なからずみられる。また、衣料品、住居用品などは必要最低限の購入に抑えられており、不要不急ではない商材は需要が低下したままとなっている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・観光客が大幅に少なくなっており、それに伴い、店舗への来客数も大きく減少している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく、前年と比較して来客数が悪化している。一方、客が大型店の混みを避けていることで、スーパーマーケットで購入するような商材、保存が効く商材が売れており、客単価が上昇している。ただし、こうした動きには仮需の要素も含まれているため、長期的には続かない。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・3月に入ってから客足が落ちている。客は午前中に必要な用事を済ませており、午後になると客足が止まる。来客数は前年を大幅に下回っている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が出始めている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・3月は決算時期であるが、新型コロナウイルスの影響で来客数が減っている。前年と比べると、来客数は2～3割減となっており、客の動きがやや鈍くなっている。
	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経営者）	販売量の動き	・石油製品価格が急落しているなか、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛の影響で販売量が減少している。	
	x	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、北海道による緊急事態宣言が出されたこともあり、商店街では今までに見たこともないほど、人出のない状況が続いている。飲食店や商店などは売上がた落ちであり、誰もが悲鳴を上げている。

×	商店街（代表者）	来客数の動き	・2月以降、来街者が激減している。公共交通機関の利用者も、自家用車の利用者も前年を下回っており、ふだんの月と比べて少なくなっている。周辺住民の来街も5～6割程度まで落ち込んでいる。区域内の夜型飲食店では予約の取消しが相次ぎ、昼夜を問わず売上が大きく減少している。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・戦後、最悪の経済状態にあり、過去に経験がないほどの落ち込みとなっている。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために出された北海道の緊急事態宣言を機に、スーパー、ホームセンター、薬局を除いた全ての業種で売上が前年の50%を割り込むようになっている。特に酒を提供する飲食店では、月末に近づくにつれて売上が悪化しており、前年の10～20%まで下落している。ひどい店では1人も客の来ない日が数日にも及んでいる。また、売上減少により運転資金が回らなくなっている店舗もみられ、これ以上の融資は破滅につながるからできず、廃業するための資金もないことから、もう夜逃げをするしかないところまで追い詰められている。この先、商店街の会費を負担できない店舗も続出しそうであり、商店街運営も危ぶまれる。
×	商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大しているなか、景気が良くなるわけがない。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・当店の周りは外国人観光客がゼロとなり、ゴーストタウンのようになっている。3月の売上は前年比26%であり、週単位で見ると、悪いときは前年比17%まで落ち込んでいた。5店舗で36人の社員がいるが、売上は1日10万円にも届かない。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、外国人観光客がゼロに近い状態まで落ち込んでいる。また、国内で感染が広まってきていることから、国内客も出張、観光共に落ち込みが生じている。ある航空会社によると、利用客が前年の3～4割という状況が続いているそうである。
×	一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの流行が全てであり、景気は悪くなっている。
×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、外国人観光客、国内客にかかわらず、来客数が激減している。外国人観光客の来店はほとんどみられず、国内客は来店しても用事が済んだらすぐに帰宅するケースが多く、買い回りが減り、客単価の低下につながっている。
×	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスまん延に伴う行動自粛の影響で、来客数が激減している。また、滞留時間も減少し、客単価も低下するなど、全ての指標がマイナスとなっている。
×	百貨店（役員）	お客様の様子	・来客数が減少している。買上客数はそれ以上に減少している。
×	百貨店（営業販売担当）	来客数の動き	・北海道による緊急事態宣言以降、来客数が大幅に減少している。特にメインとなる年配客で影響が大きい。予定されていたイベントなどが中止されたことも影響し、スーツ、コート、雑貨が動いていない状況にある。
×	スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、景気は大きく悪化している。回復の兆しも見えない。
×	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・食品スーパーとしては、2月最終週以降、巣籠り消費にも支えられ、売上が好調に推移しているが、新型コロナウイルスの影響という一過性の要因によるものであり、消費マインドの基調としては相当に冷え込んでいると言わざるを得ない。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。仮需で客単価が上昇し、売上も増加しているが、一時的な動きである。来客数の減少は今後も続くことが見込まれる。
×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う北海道の緊急事態宣言の影響で来客数が激減している。特に週末の来客数がひどく落ち込んでいる。

×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・例年であれば、年度末を迎えてスーツの需要が大きくなる時期だが、予定されていたイベントなどがなくなっていることもあり、経験したことがない落ち込みとなっている。
×	乗用車販売店 (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの流行により、全てが制限されている状態となっており、販売も止まっている。しばらくは見通しも立たない状態にある。
×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・買い回り客が激減しており、来客数が2月の半分以下となっている。販売量も目標の半分以下にとどまっている。
×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・例年と比べて販売量が落ち込んでいる。
×	自動車備品販売店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、来客数の減少が目立つ。
×	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・賃貸しているビルにおいて、退去予告、賃料の減額要請、滞滞の動きなどが出てきている。
×	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・飲食店を経営しているため、新型コロナウイルスで大きな影響を受けている。
×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、観光客の利用はほぼゼロとなっている。そのため、地元客向けの企画を練り、割引価格の設定、テイクアウト、デリバリーを行っている。また、営業時間も短縮して、昼のみの営業とし、それに合わせた最低限の人員配置としている。来客数は前年から77%の減少となっており、首都圏の状況から先行きの見通しも立たない。
×	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、売上は前年の30%未満が見込まれる。ランチ、ディナー客の激減を始め、歓送迎会の団体客が全てキャンセルとなり、40年間、接客業に従事して初の体験となった。道内各ホテルの宿泊売上については、国内客及び外国人観光客の激減に加えて、ダンプキングによる宿泊単価下落により、例年の10~20%の日もあると聞いている。また、当店では料理の割引も行ったが、焼け石に水で、効果が得られなかった。パート、アルバイト従業員は本人の意思を聞きながら、休んでもらっているが、休業補償もできず、心を痛めている。なお、北海道の緊急事態宣言が解除されてからは、ランチの来客数が少し回復している。
×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛により、外出、出張がなくなっているため、来客数が通常の3割に落ち込んでいる。
×	スナック(経営者)	来客数の動き	・昭和天皇の崩御、東日本大震災など、これまでにいろいろな経験をしてきたが、今回の新型コロナウイルスは過去の例とはわけが違い、ものすごく環境が悪くなっている。どうにか少しでも景気が良くなることを期待しているが、来月も再来月も景気が良くなる可能性は余りないと捉えている。
×	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・1月後半から、全てのマーケットにおける需要がマイナス基調となっており、その落ち込み幅が加速している状況にある。
×	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、当地発着の航空路線の利用者が減少していることで欠航便が出ており、その回復時期もみえてこない。3月の空港利用者数は近年最大の減少率となることが見込まれる。地元のバス会社やホテル、土産店など観光系企業はもとより、飲食系も外出自粛により、大幅に利用者数が減っている。
×	旅行代理店(従業員)	それ以外	・旅行需要が激減しているなか、各国で新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言、非常事態宣言などが出されていることで、国内客、外国人観光客共に人の流れが止まっている。
×	旅行代理店(従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が甚大である。取消しも新規申込みもほとんどなく、先を見通すことのできない非常に厳しい状況にある。
×	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で旅行取消しが相次いでいる。

	×	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、前月から更に業績が悪化している。3月の取扱団体旅行は全て取消しとなり、営業所としては収入のない状況となっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、北海道が2月28日に緊急事態宣言を出してから、人出が全くなかった。歓楽街からは人がいなくなり、街中、行楽地では週末も人がいない。人の動きがなくなったことでタクシーの売上は前年の50%となった。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・輸送人員数及び運送収入は前年から50%の減少となっている。東日本大震災やSARS、リーマンショックの時とは比べものにならない、過去に経験したことのない減収となっている。消費マインドという物差しでは計りきれないほどの悪化である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、外国人観光客、イベント関係者、法人による予約など、予約のあった案件のキャンセルが相次ぎ、全減した。日々のオーダーもゼロの日が続いている。タクシーの売上は半減となっている。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスによって出控えが生じており、業務に支障が出ている。売上は前年の60%にとどまり、事業の継続そのものが危険視される。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響をまともに受けている。観光客、地元客にかかわらず、とにかく人の動きが皆無に等しい状況となっている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・3月に入り需要が大きく落ち込んでいる。特に夜の人出が極端に減少している。タクシーの稼働量は前年比で20%の減少となっている。
	×	観光名所（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、3月25日時点の利用乗降客数と売上は、例年の平均的な数値と比べて約9割の減少となっている。
	×	美容室（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数及び売上が25%程度ダウンしている。とにかく人通りが少なくなっている。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、景気は悪くなっている。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響から、旅客、車両共に輸送量が激減している。
	×	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が著しく減っている。
	×	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・消費税増税がかなりの悪影響を及ぼしている。増税によって、分譲マンション価格が値上がりした一方で、客の所得が増えていないことから、客の購買意欲が大きく減退している。
企業動向関連 (北海道)		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3月の販売量は前年比プラス18%であったが、3か月前の12月は前年比マイナス6%だったため、景気は良くなっている。食品製造業としては、新型コロナウイルスの影響により自宅で食事をする機会が多くなったことがプラスとなったほか、同業他社の商材が本州に配分されたことで欠品となり、地場の当社への発注が多くなったこともプラスとなった。
		-	-	-
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・今冬の少雪と早い雪解けの影響で、年度内工事が順調にしゅん工を迎えている。完工高、利益共に見込みどおりの金額を確保できている。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今のところ、新型コロナウイルスの影響はみられない。港湾作業はほぼ変わっておらず、トレーラー輸送も今のところ大きな動きはみられない。ただ、4月以降、本州向けの生乳や飲料関連の物量が減ってくるのが懸念される。
		司法書士	取引先の様子	・例年であれば、建設業者の着工が始まってくる時期であるが、今年は実際に着工できているのかが把握できない状況にある。状況が明確になるのは4月以降となる。

	コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が少しずつ出てきているが、現状、大きな落ち込みにはつながっていない。
	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今のところ、新型コロナウイルスの影響は大きく出ていない。ただし、今後の影響は計り知れない。
	建設業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、ホテルなどの観光業の売上が激減しており、新年度からの建設投資を予定していた案件の凍結が相次いでいる。打合せなども止まっている。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・通信インフラ事業という当社の業態もあり、経営上の数値などから景況感の明らかな下向き傾向はみられないが、周囲の取引先などの状況を見ると、新型コロナウイルスの影響により、来客数、売上、商談数などが明らかに減少している。周囲の景況感はい前よりも下向いていると言わざるを得ない。
	司法書士	取引先の様子	・全世界で猛威を奮っている新型コロナウイルスの影響が次第に大きくなってきていることで、全ての取引先や訪問先から自粛要請が出ており、休業状態に近い状況となっている。営業面で甚大な影響が出ている。
	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・建設現場においても、新型コロナウイルスの影響を少しずつ受けようになっている。進捗面で遅れが出てきており、計画していたほど、売上が伸びていない状況にある。
×	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・元々、販売額が前年比1割減で推移していたところに、新型コロナウイルスの影響が生じ、一層の落ち込みとなっている。
×	家具製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が出てきている。特に住宅メーカーが販売会を自粛したことが大きく響いている。
×	金融業（従業員）	取引先の様子	・北海道における新型コロナウイルスの感染拡大に伴い出された緊急事態宣言によって、事業活動や消費行動が制約を受けるようになり、経済活動が停滞状態にある。資金繰りが窮屈になり、経営破綻に陥った企業や、従業員の解雇に踏み切った企業もみられるなど、新型コロナウイルスの影響が大きく、道内景気は3か月前に比べて悪くなっている。
×	広告代理店（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、各方面の経済活動が停滞している。当社も3月頭から在宅勤務となり、外出する機会がほとんどなくなった。
×	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、特に観光業、飲食業、レンタル業からの受注量の減少が目立っている。
×	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、製品の供給が間に合わない商材が発生したり、部品供給が間に合わず製品の納入が遅れることなどが発生しており、売上が不安定になっている。
雇用関連	-	-	-
(北海道)	職業安定所（職員）	求人数の動き	・人手不足分野の建設業、医療、福祉において、専門的・技術的職業の求人数に大きな変動がみられないことから、景気は変わっていない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・2月の有効求人倍率は1.32倍となり、前年を0.16ポイント上回り、引き続き高い水準で推移している。
	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・イベントの中止、客の外出控えにより、販売業では客の来店が減少しており、派遣依頼が落ち込んでいる。また、ホテルでは宿泊客の激減により、ベッドメイク、宴会会場でのパンケット業務などの派遣依頼が一時的に止まっている。人材紹介においても、企業が今後の業績低迷を見込み、採用に慎重になりつつある。求人意欲は大きく減退していないが、採用基準が高くなり、内定までに時間が掛かったり、高いスキルの人材採用に傾斜するなど、採用に当たったの妥協がみられなくなっている。

	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・居酒屋、レストラン、クラブなどの飲食業に始まり、運送業、アパレル、小売業に至るまで、新型コロナウイルスの影響は甚大である。想定よりは小さいものの、求人数にも影響が及び始めている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・2月の有効求人倍率は1.09倍と前年を0.02ポイント下回り、2か月連続で前年を下回った。
×	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響に尽きる。特にホテル、外国人観光客中心の小売などの観光産業については、閉鎖や閉店、時短営業などの動きが出ており、このままでは持ち堪えられない状態にある。飲食店ではテイクアウトや予約制の導入といった工夫も行われているが、終わりのみえない状況で混迷している。また、従業員の雇用日数が減少していることで、スーパーやコンビニ、介護などでのダブルワークを希望する求職者が増加している。
×	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスによる自粛などの影響によって、観光関連業界、飲食業を中心としたサービス業全般で集客状況が悪化しており、求人ニーズが冷え込んでいる。
×	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・外出控えや外国人観光客の激減など、新型コロナウイルスの影響で経済活動が停滞している。飲食、観光業界を中心に、臨時休業やイベントの中止により、売上減の状況に追い込まれ、スタッフの雇用調整、シフトカットが起きている。採用活動どころではない企業が多く、求人の掲載件数は例年の7割程度にとどまっている。ただ、失業者が増えていることで、応募状況は改善している。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなっている。
×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・当地域において、休業や雇用調整などの動きが相当数出てきている。
×	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大学生の就職活動がほとんどできていない状況にある。企業も、先行き不安から採用予定者数の見直しに入っているようであり、経済活動の停滞は一層深刻になる。